

空土ファーム生きもの調査 1月報告書

1. 調査の概要

1) 調査の目的

山梨県北杜市須玉町増富地域にある空土ファームの耕作放棄地を再耕作することにより、生物多様性がどのように変化するか、周辺環境も含め調査を実施する。また、その調査結果をもとに、一般向け自然観察会の実施や、ハンドブック作成も視野に入れる。

2) 調査方法

①調査レベル：主任研究員クラスによる現地調査

②調査地：山梨県北杜市須玉町増富地区「空土ファーム」とその周辺緑地（図-1）

今回の調査では、4カ所の調査地点を設定し、確認された生きものはどの調査地点で確認されたかを記録した。

③調査対象：鳥類、チョウ・トンボ・バッタ類等の大型昆虫類を中心に、姿・声・行動等を確認すると共に写真撮影を行う。両生類、は虫類、ほ乳類等は適宜調査する。

④調査日程：2020年1月21日 10:00～16:00



図-1 調査地全景および調査地点

2. 自動撮影装置の設置

C地点に自動撮影装置を設置し、夜間に活動する哺乳類などの記録を行った(図-2)。なお、今回の調査では哺乳類である、ニホンジカ、ニホンイノシシ、ホンドギツネ、ホンドタヌキ、および鳥類のカケスを記録することが出来た(図-3)。



図-2. 設置された自動撮影装置の様子



ホンドギツネ



ニホンジカ



ホンドタヌキ



カケス

図-3. 自動撮影装置で記録された生きもの

3. 空土ファームで見られた生きものたち

1) 空土ファーム 生きものピックアップ

ミソサザイ (C 地点):

今回の調査では、C 地点で日本で最も小さな野鳥の一つとされるミソサザイに出会えました。この鳥は写真のように尾羽を立てた姿勢でいることが多いのが特徴です。ミソサザイは倒木が多い場所など、地形の変化に富んだ場所を好むとされています。C地点の森は今年、台風の被害で倒木が数多く発生したため、ミソサザイが好む環境になったため、この場所で見られたと考えられます。



ミソサザイ (C 地点)

2) 各調査地で見られた生きものたち



カシラダカ (B、D 地点)

群れをなして木を移動しながら食べものを探していました。



カワウ (D 地点)

塩川上空を群れで飛んでいました。より広い水辺を求めて移動していたと考えられます。



トビ (D 地点)

上空を旋回し、獲物を探していました。動物の死骸のほか、ネズミなどの小動物も食べます。



ベニマシコ (B、D 地点)

群れで移動しながら、植物の種子などを食べる姿が見られました。

3) 空土★生きものコラム ～カケスとドングリの深い関係～

冬の調査では植物や昆虫はほとんどいなくなるので、主に野鳥を記録することになりますが、今回の調査で特に目立った鳥はカケスという鳥でした。カケスはカラス科に属する野鳥で、山地にいくと、「ギャーギャー」と、あまりきれいとは言えない大きな声で鳴いている姿をよく見かけます。

このカケスの主な食べものはドングリで、秋になるとドングリを喉にある袋に溜めて別の場所へ移動し、吐き戻したドングリを落ち葉の下などに隠し、貯蔵する習性があります。空土ファームに隣接する森にもコナラの木が多く生育しているため、ドングリがたくさん落ちますが、そのドングリを集めるカケスの姿は自動撮影装置にも映っていました。ちなみに秋になるとカケスは数千個のドングリを自分の縄張りに貯蔵するそうです。

この貯蔵されたドングリはカケスの冬の間の貴重な食べ物になったり、ネズミなどに他の動物に食べられたりしながら、ほとんどなくなってしましますが、一部は無事に春を迎え、新たに芽生えることができます。自ら動くことができない植物にとっては、ほとんどのドングリは食べられてしまうものの、種子を散布してもらえるので、大助かりなのでしょう。このように自然界では持ちつ持たれつの関係でお互い支えあっているのです。



カケス (C、D 地点)

4. 調査結果

表. 調査地内で見られた生物種(草本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	セイヨウタンポポ				
D	オオイヌノフグリ				
D	コセンダングサ				
D	ススキ				
D	ホトケノザ				
D	ヨシ				

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表. 調査地内で見られた生物種(木本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
C	カラマツ	Fr			
D	ヤドリギ	Fr			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表. 調査地内で見られた生物種(鳥類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	カシラダカ	v			
B	ベニマシコ	v			
C	アカゲラ	v			
C	カケス	v	自動撮影装置		
C	コゲラ	v			
C	シジュウカラ	v			
C	ミソサザイ	v			
D	エナガ	v			
D	カケス	v			
D	カシラダカ	v			
D	ガビチョウ	v			
D	カワウ	fl			
D	カワガラス	v			
D	カワラヒワ	fl			
D	キジバト	v			
D	コゲラ	v			
D	シジュウカラ	v			
D	シメ	v			
D	スズメ	c			
D	セグロセキレイ	v			
D	ツグミ	v			
D	トビ	fl			
D	ハシブトガラス	c			
D	ヒヨドリ	c			
D	ベニマシコ	v			
D	ホオジロ	v			

v:目視 c:地鳴き s:さえずり fl:飛翔 fd:採餌

表. 調査地内で見られた生物種(哺乳類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
C	ニホンイノシシ		自動撮影装置		
C	ニホンジカ		自動撮影装置		
C	ホンダギツネ		自動撮影装置		
C	ホンダタヌキ		自動撮影装置		